



ホーム画面を使いやすく

複数のホーム画面を切り替えて使えるのは、今までのケータイにはない、Android™スマートフォンならではの魅力。アプリやウィジェットを配置して自分好みにカスタマイズすれば、もっと使いやすくなります。

ホーム画面の基本を知っておこう

Android™スマートフォンには複数のホーム画面が用意されていて、左右にはらうことで切り替えて使用します。これらのホーム画面には、アプリやウィジェットを配置して、自分好みにカスタマイズすることができます。また、壁紙の変更も可能です。

注意 ここでは「docomo LIVE UX」の操作方法を紹介しております。「docomo Palette UI」など、その他のホームアプリに対応している機種については、操作方法が異なりますのでご注意ください。



ウィジェット

ホーム画面に常時設置しておく簡易アプリです。天気やニュース、時計、カレンダーなどのようにリアルタイムで情報を表示したり、検索ウィンドウのように必要な機能にすぐにアクセスしたりできます。

マチキャラ

待ち受け画面に登場し、時刻や着信などに反応してキャラクターが動作します。またメール受信や不在着信などをキャラクターがお知らせします。

アプリ・ショートカットアイコン

アプリやブラウザのブックマークなどに、すばやくアクセスするためのアイコンです。

アプリをホーム画面に配置するには

よく使うアプリは、ホーム画面に配置すると便利です。

※docomo PaletteUIでは、アプリ一覧でアプリのアイコンを長押しし、「ホーム画面へ追加」を選択するとホーム画面にショートカットが追加されます。

Check! ショートカットはアプリ一覧から作成
ブックマークなどのショートカットは、アプリ一覧のウィジェットタブからホーム画面に配置することで作成できます。



1 ホーム画面で、左下にある「+」を押します。

2 ホーム画面に配置したいアプリのアイコンを長押しし、画面下部へ動かすとホーム画面に移動できます。

3 ホーム画面にアプリが配置されます。

アプリを好みの画面に移動するには

ホーム画面上のアプリは、長押しし、そのまま好きな場所まで移動することで場所を変えられます。ホーム画面をまたいで移動も可能です。

Check! アプリをホーム画面からアプリ一覧に戻すには？
アイコンを長押しし、画面上部に表示される「アプリ一覧に戻す」に重ねます。※docomo Palette UIでは、アイコンを長押しし、表示されるメニューから「削除」を選択します。



1 ホーム画面で、移動したいアイコンを長押しします。

2 画面をまたいで移動したい場合、長押ししたまま画面の端まで移動します。

3 置きたい場所で指を離せば、アイコンを移動させることができます。

ウィジェットを配置するには

ウィジェットの設置は、アプリ一覧のウィジェットタブから行います。アプリと同様の操作で移動やホーム画面からの削除も可能です。

※docomo PaletteUIでは、ホーム画面の空いているスペースを長押しし、表示されるメニューから行います。

Check! ウィジェットにはサイズがある
ウィジェットにはさまざまなサイズがあり、必要なスペースが空いていないと設置できないので注意しましょう。



1 ホーム画面で、左下にある「+」を押し、ウィジェットタブを選択します。

2 設置したいウィジェットを長押しし、画面下部へ動かすとホーム画面に移動できます。

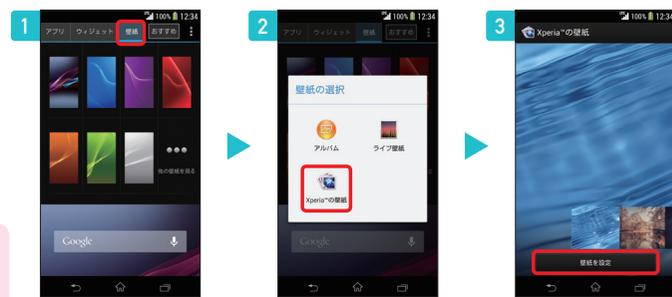
3 ホーム画面にウィジェットが設置されます。

壁紙を変更するには

壁紙を変更したい場合は、右の手順で設定します。あらかじめ用意された壁紙のほか、ギャラリー内にある画像も設定できます。

※docomo PaletteUIでは、ホーム画面の空いているスペースを長押しし、表示されるメニューから行います。

Check! docomo LIVE UXなら「させかえ」もできる
ホーム画面を長押しして表示されるメニューで「させかえ」を選べば、壁紙だけでなくアイコンなどのデザインも変わる「させかえ」ができます。



1 ホーム画面で、左下にある「+」を押し、壁紙タブを選択します。

2 設定したい画像を選択します。

3 「壁紙を設定」を選べば、壁紙が変更されます。